

令和元年度 定期監査結果に基づく措置状況等の報告

1. 監査の種類 地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査
2. 監査対象年度 令和元年度4月から9月まで
3. 監査結果報告 令和元年12月24日

| 所属等        | 定期監査結果                                                                                                                                     | 措置状況等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 伊賀南部環境衛生組合 | 工事・修繕、委託については、競争入札による契約を基本とし、安易な随意契約は慎まれない。                                                                                                | 施設運転管理業務やクリーンセンターの焼却に係る修繕等については、その特殊性から入札に付することは困難ですが、汎用機器の工事・修繕や、2者以上で履行が可能と考えられる物品購入や委託業務などについては、原則競争入札によるものといたします。<br>また、軽油及び灯油などの燃料費については、少しでも有利な契約となるよう複数者による見積もり合わせを実施しています。                                                                                                                                                  |
| 伊賀南部環境衛生組合 | 退職不補充の中で正規職員の割合が低下しており、職員一人一人の負担は増しているものと酌量するが、業務の委託に際しては、まずは効率・効果的な人員配置や業務分担を進め、業務内容についても再点検を行い、安全性を確保したうえで必要最小限の委託内容に厳選することで経費節減に努められたい。 | 廃棄物処理に係る収集業務については、令和2年度からのごみ分別の変更により、直営収集業務の縮小が図られたことから収集業務に携わる正規職員数が減少となり、配置換えした結果、クリーンセンターでの廃棄物受付業務に正規職員の配置が可能となりました。このことにより、現在では再任用職員や会計任用職員を含めて概ね無理のない体制となっています。<br>しかしながら、昨年度発生した火災に伴い、施設での処理が出来ない不燃ごみの外部搬出作業などの追加業務や、容リ包装プラの可燃への移行に伴うサポート業務などにより、現状において人員削減は困難です。<br>また、委託業務でも適正処理に必要とされる展開検査を行う人員削減は、安全確保の面から当面の間は難しいと思われます。 |
| 伊賀南部環境衛生組合 | 委託業者の測定データ改ざんをはじめ火災事故や死亡事故も発生している。施設管理においては、委託業者と情報共有をしっかり行い、適時・適切にその執行を管理し、再発防止の為、安全管理強化の徹底に努められたい。                                       | 法令遵守や安全確保といった重要なルール作りは昨年度末までに運転操作マニュアルや、事故の際における事故対応マニュアルの改訂、排ガスの運用基準マニュアルの策定などを実施しており、現在は各マニュアルに沿った運用を行っています。<br>組合と受注者との情報共有も行っているうえ、第3者による運転状況確認・検証も定期的に行っていることから、過去の事案を教訓とし、今後はより適切な運転を行うよう努めてまいります。                                                                                                                            |
| 伊賀南部環境衛生組合 | 火災事故による復旧整備については、早急に進めなければならないが、修繕計画や整備計画も勘案しつつ、より合理的な手法を十分に検討されたい。                                                                        | 今年度に施工するクリーンセンターリサイクル施設の火害復旧工事により機能回復する機器類について、その状態も十分に勘案したうえで施設整備計画を策定し、その後計画に基づき整備を行ってまいりたいと考えています。                                                                                                                                                                                                                               |
| 伊賀南部環境衛生組合 | クリーンセンター施設については、操業期限までの修繕計画も含めた施設の整備方針について十分に検討を行い、協定による操業期限を見据え、構成市と早急に整備計画の協議を進められたい。                                                    | 操業期限を見据えた整備計画を図れるよう、構成市との協議を進めていきたいと考えています。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |